



平成 26 年 11 月 13 日

各 位

上場会社名 積水ハウス株式会社  
 代表者氏名 代表取締役社長 阿部 俊 則  
 (コード番号) (1928 東証・名証 市場第一部)  
 本 社 所 在 地 大阪市北区大淀中一丁目1番 88 号  
 問い合わせ先  
 責任者役職名 コーポレート・コミュニケーション部長  
 氏 名 畔柳 均  
 代表TEL 06-6440-3111

### 積水ハウスグループ 2014 年度 中期経営計画

積水ハウスグループは、平成29年1月期を最終年度とする中期経営計画を策定致しましたので、お知らせ致します。

当社は、住宅トップブランド、そしてリーディングカンパニーとして積極的な成長を図り業界を牽引することを目指し「事業ドメインを“住”に特化した成長戦略の展開」を推進してきた結果、今期の業績は過去最高の売上高、営業利益の達成が見込める状況となりました。

本計画では、更なる成長を図るため「グループシナジーの強化による“住”関連ビジネスの新たな挑戦」を掲げ、住宅、住宅関連ビジネスの拡大、新規開拓を図りながら事業を推進してまいります。請負型事業の強化はもとより、ストック型及び開発型ビジネスにおける新規事業の拡大を積極的に行い、これらの事業領域で新たなビジネスを構築し成長を図ります。併せて、引き続き生産部門、経営資源の効率化などによる経営基盤強化を図るとともに、時機に応じた資本政策を行い、計画年度の業績・経営目標の達成を目指すと同時に、株主還元を努めてまいります。

#### 【2014 年度中期経営計画の基本方針】

「グループシナジーの強化による“住”関連ビジネスの新たな挑戦」

#### 【経営目標】

(単位:百万円)

	2014 年度計画 (平成 27 年 1 月期)	2015 年度計画 (平成 28 年 1 月期)	2016 年度計画 (平成 29 年 1 月期)
売上高	1,910,000	1,920,000	2,020,000
営業利益	145,000	152,000	166,000
当期純利益	89,000	95,000	103,000
営業利益率	7.6%	7.9%	8.2%
EPS(円)	130.4 円	139.0 円	151.0 円
ROE	9.3%	9.5%	10.0%

## 【積水ハウスの事業戦略】

積水ハウスグループのビジネスモデルは、請負型、ストック型、開発型の3つのビジネスで事業を推進しています。

### 《請負型ビジネス》

当社フラッグシップ「イズステージ」を擁する「イズシリーズ」の新商品展開等による中高級商品の拡販を図りつつ、社会課題となっている、地球温暖化やエネルギー問題解決の一助となるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(当社「グリーンファースト ゼロ」)の普及促進を行ってまいります。一方では相続税課税強化に伴う賃貸住宅や多世帯住宅のニーズを捉え、当社の強みであるβ構法による3・4階建て商品の強化により戸建・賃貸住宅事業を推進してまいります。

### 《ストック型ビジネス》

戸建・賃貸住宅でのリノベーション事業(大型リフォーム)の強化を行いながら、マンションリフォーム等新たな事業展開を図ります。また、良質な住宅の流通促進を図るため、スムストック事業の積極的な展開を行ってまいります。

今後の本格的な高齢社会の到来に向けては、サービス付き高齢者向け住宅の販売を拡大すべく専門の子会社「積和グランドマスト(株)」を設立し事業拡大を図ります。

### 《開発型ビジネス》

開発用地のターゲティングを厳密に行いながら、将来に亘り資産価値が高まっていく良質なまちなみを形成し、分譲事業の販売を積極的に行います。また、都市再開発事業では積水ハウス・リート投資法人の創設により新たな出口戦略が可能になり、資産回転率を高めることで利益創出を図ります。更に、国際事業においては現地でのブランド構築を図り、安定した事業基盤作りを進めてまいります。

## 【株主還元について】

当社の利益配分の基本方針は、中・長期に亘る高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中長期的な平均配当性向については、最低40%を確保することとしています。

また、各年度における利益又はキャッシュ・フローの状況、並びに国内経済及び市場環境の動向などを踏まえた将来の事業展開等を総合的に勘案し、時機に応じて自己株式取得及び消却の実施など、資産効率の改善を通じて株主利益の増進に努めてまいります。

以上の基本方針に基づき、今後は配当による平均配当性向40%に加え、当期利益の20%を目途にした自己株式の取得を行い、株主への総還元性向を60%とすることと致します。

以上